

## **モリブデン** 相場はMoO<sub>3</sub>, FeMoともに高値維持

### 供給不足とショートカバー殺到でスポット市場はタイト

ステンレスなど特殊鋼に用いられるモリブデンの国際相場は、22年12月初めに2008年10月以来、ほぼ14年ぶりの最高値を更新したが（既報・12月8日号）、以降も上値を追う動きが続き、今年年初には1ヵ月で5割近く上昇。その後いったん調整に転じたものの、足元では三酸化モリブデン（MoO<sub>3</sub>）が31.15～33.8ドル/lbMo。鉄鋼添加材のフェロモリブデン（FeMo）が81.0～83.0ドル/kg Moと再び上げに転じている。モリブデンは11月中旬に最大市場・中国のおう盛な需要から中国内価格が急騰。中国内に比べ割安となった国際市場での調達が発達し、スポット市場のタイト感が強まっていた。さらに12月初旬に大手生産者の大幅減産の情報が市場に流れると、供給不足を懸念したヨーロッパのトレーダー勢による大規模なショートカバー（売りポジションの買戻し）や、韓国のフェロモリブデン生産者がスポット市場で原料の三酸化モリブデンの調達を実施し、大きく値を上げた。モリブデンの今後の相場見通しについて、レアメタル専門商社・アドバンストマテリアルジャパンの松村 洋・合金鉄部長によれば、「スポット市場への供給が不足するなか、ショートカバーのニーズが衰えておらず、当面は下がりにくい状況が続く」という。三酸化モリブデンは春先まで現状の30ドル前後の高値圏で推移するとみられている。